

## 令和元年度実績

### (論文)

1. Mari Hashimoto, Osamu Iketani, Naoki Ichinose, Yuki Enoki, Kazuaki Taguchi, Shunsuke Uno, Yoshifumi Uwamino, Naoki Hasegawa, Kazuaki Matsumoto. Evaluation for optimal dosing of vancomycin in patients with different physical types. J Infect Chemother. 2019; 25(9):735-737.

### (招待講演)

1. 一ノ瀬直樹：公立昭和病院における CD 感染症対策について。第 29 回多摩臨床血液・輸血療法研究会，2019 年（令和元年）5 月 16 日，東京。
2. 一ノ瀬直樹：パネルディスカッション：感染症治療薬の欠品・流通制限はなぜ起きるか？。第 12 回抗感染症薬開発フォーラム，2019 年（令和元年）6 月 15 日，東京。
3. 小田智三：薬剤耐性問題と抗菌薬適正使用～外来診療を中心に～。第 81 回清瀬市薬剤師会研修会，2019 年（令和元年）11 月 28 日，東京
4. 一ノ瀬直樹：薬剤耐性問題と抗菌薬適正使用～PK/PD と感染対策～。第 81 回清瀬市薬剤師会研修会，2019 年（令和元年）11 月 28 日，東京
5. 木津純子，大藤貴，戸塚恭一，丸茂明美，横沢隆行，一ノ瀬直樹，倉井華子：パネルディスカッション AMR アクションプランの進捗状況。第 5 回北多摩北部抗菌薬適正使用研究会，2019 年（令和元年）12 月 4 日，東京。
6. 一ノ瀬直樹：シンポジウム 21 感染対策 それぞれのピットフォール AST 活動のピットフォール～AS の目的に立ち戻り考える～。第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会，2020 年（令和 2 年）2 月 15 日，神奈川。

### (学会発表)

1. 小田智三，一ノ瀬直樹，高橋秀徳，横沢隆行，大場邦弘：過去 30 年間に感染対策関連の諸問題が争点となった裁判例の検討。第 93 回日本感染症学会総会・学術講演会，2019 年（平成 31 年）4 月 6 日，愛知。
2. 一ノ瀬直樹，高橋秀徳，大場邦弘，木津純子，松元一明，小田智三：抗菌薬適正使用支援が医師の経口抗菌薬処方行動に与える影響の評価。第 67 回日本化学療法学会総会，2019 年（令和元年）5 月 10 日，東京。

3. 宇佐見まみ, 一ノ瀬直樹, 小田智三:胆道感染症における ESBL 産生菌検出状況と治療実態. 第 67 回日本化学療法学会総会, 2019 年 (令和元年) 5 月 11 日, 東京.
4. 長谷川忍, 一ノ瀬直樹, 大島仁美, 松尾友美, 土橋直子, 小田智三:アルコール性手指消毒薬の使用量を増加させる要因に関する検討～地域で一番手洗いをする病院を目指して～. 第 58 回全国自治体病院学会, 2019 年 (令和元年) 10 月 24 日, 徳島
5. 一ノ瀬直樹, 大島仁美, 横沢隆行, 長谷川忍, 松尾友美, 土橋直子, 小田智三:手指衛生遵守率向上に向けての長期間にわたる多面的な介入の効果. 第 58 回全国自治体病院学会, 2019 年 (令和元年) 10 月 25 日, 徳島
6. 一ノ瀬直樹, 横沢隆行, 土橋直子, 木津純子, 小田智三:手指衛生遵守率向上のための 7 年間の全病院的な多面的な介入による改善効果の検討. 第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会, 2020 年 (令和 2 年) 2 月 15 日, 神奈川.
7. 長谷川忍, 一ノ瀬直樹, 土橋直子, 木津純子, 小田智三:アルコール性手指消毒薬の使用量増加への取り組みと増加させる要因に関する考察. 第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会, 2020 年 (令和 2 年) 2 月 15 日, 神奈川.
8. 長坂喜史, 一ノ瀬直樹, 田口和明, 榎木裕紀, 小田智三, 堤一生, 松元一明:細菌性髄膜炎患者におけるセフェピムの髄液移行性評価とその予測因子の探索研究. 日本薬学会第 140 年会, 2020 年 (令和 2 年) 3 月 28 日, 京都.

\*下線は感染管理部員氏名。